



勅令

◎勅令第七十六號

昭和十五年法律第百六號ハ昭和十六年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

◎勅令第七十七號

自動車交通事業法施行令

第一條 自動車交通事業法中主務大臣トアルハ自動車道事

業ニ關シテハ内務大臣及鐵道大臣、其ノ他ニ關シテハ同

法ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外鐵道大臣トス

第二條 左ニ掲グル場合ニ於テハ鐵道大臣ハ内務大臣ニ協

議スベシ

一 自動車交通事業法第四條又ハ第十六條ノ三ノ規定ニ

依リ免許ヲ爲サントスルトキ

二 公共團體ニ對シ自動車交通事業法第十條、第十一條

第三項、第十三條第一項、第十三條ノ二第一項、第十

四條、第十六條ノ六又ハ第十六條ノ八ニ於テ準用スル

第十一條第三項、第十三條第一項、第十三條ノ二第一

項若ハ第十四條ノ規定ニ依リ處分ヲ爲サントスルトキ

三 自動車交通事業法第三十七條第二項ノ規定ニ依リ爲

サレタル旅客自動車運輸事業又ハ事業區間ヲ定ムル貨

物自動車運送事業ノ經營ノ協議ニ應ゼントスルトキ

第三條 鐵道大臣自動車運送事業組合又ハ自動車運送事業

組合聯合會ニ付自動車交通事業法ニ定ムル職務ヲ行フ場

合ニ於テ其ノ職務ガ同法第十六條ノ十一第二項(同法第

十六條ノ三十四ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依

リ自動車運送事業組合又ハ自動車運送事業組合聯合會ノ行フ資金ノ貸付又ハ貯金ノ受入ノ事業ニ關スルモノナルトキハ大藏大臣ニ協議スベシ

第四條 左ニ掲グル場合ニ於テハ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監トス）ハ旅客自動車運送事業經營ノ免許ノ全部若ハ一部ヲ取消シ又ハ事業ノ全部若ハ一部ヲ停止セシムルコトヲ得

一 法令又ハ免許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ違反シタルトキ

二 法令ニ基キテ爲シタル處分又ハ免許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ基キテ爲シタル處分ニ違反シタルトキ

三 事業ノ經營不確實又ハ資産状態ノ著シキ不良其ノ他ノ爲事業ヲ繼續スルニ適セズト認メタルトキ

四 公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキ

第五條 左ニ掲グル場合ニ於テハ旅客自動車運送事業經營ノ免許ハ其ノ效力ヲ失フ

一 免許ヲ受ケタル後四月以内ニ事業ヲ開始セザルトキ
二 事業ノ廢止ノ許可ヲ受ケタルトキ
第六條 前二條ニ規定スルモノノ外旅客自動車運送事業ニ關シ必要ナル事項ハ鐵道大臣之ヲ定ム

第七條 鐵道大臣自動車交通事業ノ統制其ノ他公益上必要アリト認ムルトキハ左ニ掲グル事業ノ經營ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得

一 旅客自動車運輸事業又ハ旅客自動車運送事業ニ非ズシテ自動車ニ依リ旅客ヲ運送スル事業

二 貨物自動車運送事業ニ非ズシテ自動車ニ依リ物品ヲ運送スル事業

三 自動車ニ依ル物品運送ノ運送取扱業又ハ運送代辦業
前項各號ニ掲グル事業ニ關シ必要ナル事項ハ鐵道大臣之ヲ定ム

第八條 自動車交通事業法第十六條ノ七ノ規定ニ依リ補助ヲ爲ス貨物自動車運送事業者ハ鐵道若ハ軌道ト連絡スル事業又ハ産業上特ニ有用ナル事業ヲ營ム者ニ限ル

第九條 貨物自動車運送事業者が貨物自動車ノ興業費ヲ償却シタルトキハ其ノ償却額ノ三分ノ一以內ニ於テ鐵道大臣ノ定ムル補助金ヲ交付スルコトヲ得

前項ノ貨物自動車ノ範圍竝ニ興業費及償却額ノ計算ニ付必要ナル事項ハ鐵道大臣之ヲ定ム

第十條 補助金ハ貨物自動車ノ取得又ハ改良ノ爲之ヲ使用スベシ但シ特別ノ事由アルトキハ鐵道大臣ノ許可ヲ受ケ貨物自動車ノ整備ニ必要ナル設備ノ新設又ハ改良ニ之ヲ使用スルコトヲ得

第十一條 貨物自動車運送事業ノ管理者ガ法令若ハ法令ニ基キテ發スル命令、免許若ハ補助ニ附シタル條件ニ違反シ又ハ公益ヲ害スベキ行爲ヲ爲シタルトキハ鐵道大臣ハ其ノ補助ヲ停止シ若ハ廢止シ又ハ補助金ヲ償還セシムルコトヲ得

第十二條 詐欺ノ行爲ヲ以テ補助金ヲ受ケタルトキハ法定ノ利息ヲ附シテ之ヲ償還セシム

第十三條 國ニ於テ旅客自動車運輸事業（以下運輸事業ト

稱ス）又ハ事業區間ヲ定ムル貨物自動車運送事業（以下運送事業ト稱ス）ヲ經營シタル爲之ト路線又ハ事業區間ヲ共通ニスル旅客自動車運輸事業者又ハ貨物自動車運送事業者（以下事業者ト總稱ス）ガ其ノ部分ニ付事業ヲ繼續スルコト能ハザルニ至リ廢止シタル場合ニ於ケル補償金額ハ事業者ノ該部分ニ於ケル利益ノ年額ヲ基礎トシ其ノ七分分以內ニ於テ鐵道大臣ノ定ムル所ニ依リ計算シ一時ニ之ヲ交付ス但シ事業者ノ同意アリタル場合ハ分割シテ三年以內ニ之ヲ交付スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ事業者ノ決算ニ基キ鐵道大臣ノ査定シタル該部分ノ興業費ヨリ殘存物件ノ價額ヲ控除シ殘額アルトキハ該殘額ノ範圍內ニ於テ鐵道大臣ノ決定シタル額ヲ前項ノ規定ニ依ル交付金額ニ加算スルコトヲ得

前二項ノ規定ハ殘存路線又ハ殘存事業區間ノミニ付事業ヲ繼續スルコト能ハザルニ至リ廢止シタル場合ニ於ケル補償金ノ交付ニ之ヲ準用ス

前各項ノ規定ニ依ル補償金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ國

ノ經營スル運輸事業又ハ運送事業ノ運輸開始ノ日ヨリ一年以内ニ其ノ事業廢止ノ許可ヲ申請スルコトヲ要ス

第十四條 國ニ於テ運輸事業又ハ運送事業ヲ經營シタル爲之下路線又ハ事業區間ヲ共通ニスル事業者ガ其ノ部分ニ付著シク運輸收入ヲ減少スルニ至リタル場合ニ於ケル補償金額ハ國ノ經營スル運輸事業又ハ運送事業ニ轉嫁シタリト認めラルル運輸數量ニ對應スル事業者ノ利益ノ減少額ノ範圍内ニ於テ鐵道大臣ノ定ムル所ニ依リ計算シ之ヲ交付ス

前項ノ規定ニ依ル補償ノ期間ハ國ノ經營スル運輸事業又ハ運送事業ノ運輸開始ノ日ヨリ三年以内トス

第一項ノ規定ニ依ル補償金ハ前條ノ規定ニ依ル補償金ヲ交付スル場合ニハ之ヲ交付セズ

第十五條 前二條ノ利益ハ運輸收入ヨリ營業費ヲ控除シタル殘額ヲ謂フ但シ第十三條ノ場合ニ於テ殘額ガ運輸收入ノ百分ノ五ニ達セザルトキハ該收入ノ百分ノ五ニ相當スル額トス

第十三條ノ興業費及殘存物件ノ價額ハ事業廢止ノ日ニ於ケル額ニ依ル

第十六條 前三條ノ興業費、殘存物件ノ價額、運輸收入及營業費ノ計算ニ付必要ナル事項ハ鐵道大臣之ヲ定ム

附 則

本令ハ昭和十五年法律第百六號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
昭和八年勅令第二百二十號及昭和十三年勅令第五百二號ハ之ヲ廢止ス

陸上交通事業調整法施行令中「自動車運輸事業」ヲ「旅客自動車運輸事業」ニ改ム

(參照)

昭和八年八月二日勅令第二百二十號ハ自動車運輸事業以外ノ自動車ニ依ル運送事業ニ關スル件及同十三年七月九日勅令第五百二號ハ自動車交通事業法第三十七條第三項ノ規定ニ依ル補償ニ關スル件ナリ

◎勅令第七十八號

自動車運送事業組合法

第一條 本令ニ於テ組合又ハ聯合會ト稱スルハ自動車交通事業法ノ自動車運送事業組合又ハ自動車運送事業組合會ヲ謂フ

第二條、組合又ハ聯合會ハ其ノ名稱中ニ自動車運送事業組合又ハ自動車運送事業組合聯合會ナル文字ヲ用フベシ
組合又ハ聯合會ニ非ザルモノハ其ノ名稱中ニ自動車運送事業組合又ハ自動車運送事業組合聯合會ナル文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第三條 組合ノ創立總會ニ於ケル議決及役員ノ選任ハ設立同意者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ之ヲ爲ス但シ自動車交通事業法第十六條ノ十第一項但書ノ場合ニ於テハ各事業毎ニ設立同意者ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス
設立同意者ハ創立總會ニ於テ代理人ヲ以テ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得

前項ノ代理人ハ設立同意者タルコトヲ要ス但シ法人タル設立同意者ハ其ノ業務ヲ執行スル役員又ハ支配人ヲ代理人ト爲スコトヲ得

代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ提出スベシ

第四條 自動車交通事業法第十六條ノ十三第一項ノ規定ニ依リ組合ノ設立ヲ命ゼラレタルトキハ創立總會ヲ開キ定款其ノ他必要ナル事項ヲ定メ役員ヲ選任シ鐵道大臣ノ指定スル期限迄ニ設立ノ認可ヲ申請スベシ
前項ノ創立總會ニ於ケル議決及役員ノ選任ハ出席者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ之ヲ爲ス

第五條 鐵道大臣自動車交通事業法第十六條ノ十三第二項ノ規定ニ依リ定款ヲ作成シタルトキハ組合ノ理事及監事ヲ命ズ
前項ノ理事ハ遲滞ナク總會ヲ招集スベシ

前項ノ總會ニ於テハ組合設立當時ノ收支豫算及經費ノ分賦收入方法ヲ議決スベシ

第六條 組合ノ理事及監事ハ組合員又ハ組合員タル法人ノ業務ヲ執行スル役員ノ中ヨリ之ヲ選任ス但シ組合設立當時ノ理事及監事ハ創立總會ニ於テ自動車交通事業法第十六條ノ十二第一項ノ場合ニ在リテハ設立同意者又ハ設立

同意者タル法人ノ業務ヲ執行スル役員ノ中ヨリ、第四條
第一項ノ場合ニ在リテハ組合員タル資格ヲ有スル者又ハ
組合員タル資格ヲ有スル法人ノ業務ヲ執行スル役員ノ中
ヨリ之ヲ選任スベシ

特別ノ事由アルトキハ理事又ハ監事ハ前項ニ規定スル者
以外ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第七條 組合員ハ總組合員ノ五分ノ一以上ノ同意ヲ得テ會
議ノ目的タル事項及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ
組合ノ理事ニ提出シテ總會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得
組合ノ理事正當ノ理由ナクシテ前項ノ規定ニ依リ請求ア
リタル後二週間以内ニ總會招集ノ手續ヲ爲サザルトキハ
請求者ハ行政官廳ノ認可ヲ受ケ之ヲ招集スルコトヲ得

第八條 自動車交通事業法第十六條ノ十八第一項第一號、
第二號及第七號ニ掲グル事項ノ議決ハ總組合員ノ半數以
上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テ之ヲ爲スコト
ヲ要ス

第九條 組合員ハ代理人ヲ以テ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得

此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス

前項ノ代理人ハ組合員タルコトヲ要ス但シ法人タル組合
員ハ其ノ業務ヲ執行スル役員又ハ支配人ヲ代理人ト爲ス
コトヲ得

代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ提出スベシ

第十條 組合員タル資格ヲ有スル者組合ニ加入セントスル
トキハ組合ハ正當ノ理由ナクシテ加入ニ困難ナル條件ヲ
附シ又ハ其ノ加入ヲ拒ムコトヲ得ズ

第十一條 組合員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ一定ノ期間前ニ
豫告ヲ爲シ組合ノ承諾ヲ得タル場合ニハ事業年度ノ終ニ
於テ脱退スルコトヲ得

組合ハ正當ノ理由ナクシテ前項ノ承諾ヲ拒ムコトヲ得ズ

第十二條 組合ハ左ニ掲グル事由ニ因リテ解散ス

- 一 存立時期ノ滿了其ノ他定款ニ定メタル事由ノ發生
- 二 總會ノ決議

三 合併

四 破産

五 解散ノ命令

第十三條 第二十一條ニ於テ準用スル民法第七十九條及第八十一條竝ニ産業組合法第四十條第二項(同法第四十二條、第五十八條第三項及第六十四條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)及第六十八條第二項ノ規定ニ依リテ爲スベキ公告ハ裁判所ガ爲スベキ登記事項ノ公告ト同一ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第十四條 本令ニ依リ登記スベキ事項ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外其ノ事實ノ生ジタル日ヨリ主タル事務所ノ所在地ニ於テハ二週間、従タル事務所ノ所在地ニ於テハ三週間以内ニ之ヲ登記スベシ

本令ニ依リ登記スベキ事項ニシテ行政官廳ノ認可ヲ要スルモノハ其ノ認可書ノ到達シタル時ヨリ登記ノ期間ヲ起算ス

第十五條 組合成立シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スベシ但シ組合員ヲシテ出資ヲ爲サシムル組合ニ在リテハ前條第一項ノ期間ハ出資ノ第一回ノ拂込ノ終

了ノ日ヨリ之ヲ起算ス

登記スベキ事項左ノ如シ但シ自動車交通事業法第十六條ノ十三ノ規定ニ依ル組合ニ在リテハ第三號及第四號ニ掲グル事項竝ニ同法第十六條ノ十六第七號及第十五號ニ掲グル事項、同法第十六條ノ二十第三項ノ規定ニ依ル組合ニ在リテハ第三號及第四號ニ掲グル事項竝ニ同法第十六條ノ十六第七號ニ掲グル事項ハ之ヲ登記スルコトヲ要セス

一 自動車交通事業法第十六條ノ十六第一號乃至第三號、第七號及第十五號ニ掲グル事項

二 事務所

三 出資ノ總口數及拂込ミタル出資ノ總額

四 自動車交通事業法第十六條ノ二十三第二項ノ規定ニ

依ル組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名又ハ名稱、住所及各組合員ガ其ノ出資額ノ外責任ヲ負擔スル金額(保證

金額)

五 成立ノ年月日

六 理事及監事ノ氏名及住所

前項ニ掲グル事項中變更ヲ生ジタルトキハ其ノ登記ヲ爲スベシ但シ前項第三號ニ掲グル事項ニ付テハ其ノ事業年度末日ノ現在ニ依リ事業年度終了ノ日ヨリ一月以内ニ之ヲ爲スコトヲ得

第十六條 組合ノ設立ノ登記ハ理事及監事ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲スベシ

前項ノ登記ノ申請書ニハ定款及創立總會又ハ總會ノ決議錄ノ謄本、出資ノ總口數ヲ證スル書面、出資ノ第一回ノ拂込アリタルコトヲ證スル書面竝ニ理事及監事ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スベシ但シ自動車交通事業法第十六條ノ十三ノ規定ニ依ル組合ニシテ鐵道大臣ノ處分ニ因リテ成立シタルモノニ在リテハ創立總會又ハ總會ノ決議錄ノ謄本、出資ノ總口數ヲ證スル書面及出資ノ第一回ノ拂込アリタルコトヲ證スル書面、同法同條ノ規定ニ依ル組合ニシテ鐵道大臣ノ處分ニ因ラズシテ成立シタルモノ又ハ同法第十六條ノ二十第三項ノ規定ニ依ル組合ニ在リテハ

出資ノ總口數ヲ證スル書面及出資ノ第一回ノ拂込アリタルコトヲ證スル書面ハ之ヲ添附スルコトヲ要セズ

合併ニ因ル設立ノ登記ノ申請書ニハ前項ニ規定スル書面ノ外本令ニ依リ公告及催告ヲ爲シタルコト竝ニ異議ヲ述べタル債權者アル場合ニ於テハ之ニ對シ辨濟ヲ爲シ又ハ擔保ヲ供シタルコトヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第十七條 組合ノ事務所ノ新設、移轉其ノ他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事又ハ清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲スベシ但シ合併又ハ出資一口ノ金額若ハ保證金額ノ減少ニ因ル變更ノ登記ハ理事及監事ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲スベシ

前項ノ登記ノ申請書ニハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面及申請人中ニ理事ノ職務ヲ行フ監事又ハ假理事アル場合ニ於テハ其ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スベシ

前條第三項ノ規定ハ合併又ハ出資一口ノ金額若ハ保證金額ノ減少ニ因ル變更ノ登記ノ申請ニ之ヲ準用ス

第十八條 組合ガ第十二條第一號又ハ第二號ノ事由ニ因リ

テ解散シタルトキハ解散ノ登記ハ清算人ノ申請ニ因リ、
同條第三號ノ事由ニ因リテ解散シタルトキハ解散ノ登記
ハ解散シタルトキノ理事及監事ノ全員ノ申請ニ因リテ之
ヲ爲スベシ

前項ノ登記ノ申請書ニハ解散ノ事由ヲ證スル書面及前項
前段ノ場合ニ於テ理事ガ清算人タラザルトキハ申請人ノ
資格ヲ證スル書面ヲ添付スベシ

第十六條第三項ノ規定ハ合併ニ因ル解散ノ登記ノ申請ニ
之ヲ準用ス

組合ガ第十二條第五號ノ事由ニ因リテ解散シタルトキハ
解散ノ登記ハ鐵道大臣ノ囑託ニ因リテ之ヲ爲スベシ

第十九條 組合ノ清算終了ノ登記ハ清算人ノ申請ニ因リテ
之ヲ爲スベシ

第二十條 本令ニ依リ登記シタル事項ハ裁判所ニ於テ遲滯
ナク之ヲ公告スベシ

第二十一條 民法第四十四條第一項、第四十五條第二項第
三項、第四十八條、第五十條、第五十二條第二項、第五

十四條、第五十五條、第五十九條第三號第四號、第六十
一條第一項、第六十二條、第六十四條、第六十六條、第
七十條第一項、第七十三條乃至第七十六條及第七十八條
乃至第八十三條、非訟事件手續法第三十五條第二項、第三
十六條乃至第三十七條ノ二、第二百二十五條第一項（第百
四十一條及第百七十七條ヲ準用スル部分ヲ除ク）、第百
五十條ノ二及第百七十八條並ニ産業組合法第五條、第十
條、第十一條第一項、第十二條、第十八條乃至第二十二
條、第二十四條、第二十六條、第二十九條乃至第三十一
條ノ三、第三十六條、第四十條乃至第四十六條、第四十
七條、第四十八條、第五十一條乃至第五十八條、第六十
二條第二項但書、第六十三條第一項、第六十三條ノ二、
第六十四條、第六十六條第一項、第六十七條、第六十八
條、第七十條乃至第七十三條、第七十四條第一項、第七
十四條ノ二第一項、第七十七條第三項、第九十六條及第
九十七條ノ規定（自動車交通事業法第十六條ノ十三ノ規
定ニ依ル組合及同法第十六條ノ二十第三項ノ規定ニ依ル

組合ニシテ同法第十六條ノ二十七第一項ノ規定ニ依ル命令アリタルモノニ付テハ産業組合法第十條、第十一條第一項、第十二條、第十八條乃至第二十二條、第四十條乃至第四十三條、第四十四條第二項、第四十五條、第四十六條、第四十八條、第五十一條第三號乃至第五號、第五十二條乃至第五十八條、第六十二條第二項但書、第六十三條ノ二、第六十四條、第六十六條第一項、第六十七條、第六十八條及第七十七條第三項ノ規定ヲ、自動車交通事業法第十六條ノ二十第三項ノ規定ニ依ル組合ニシテ同法第十六條ノ二十七第一項ノ規定ニ依ル命令ナキモノニ付テハ産業組合法第十一條第一項、第十二條、第十八條乃至第二十二條、第四十條乃至第四十三條、第四十四條第二項、第四十五條、第五十二條乃至第五十八條、第六十二條第二項但書、第六十八條及第七十七條第三項ノ規定ヲ除クハ組合ニ之ヲ準用ス但シ産業組合法第二十四條中地方長官トアルハ行政官廳トス

第二十二條 本令中總會ニ關スル規定ハ自動車交通事業法

第十六條ノ三十一ノ規定ニ依ル總代會ニ之ヲ準用ス

第二十三條 聯合會ノ創立委員會ニ於ケル議決及役員ノ選

任ハ創立委員總數ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ之ヲ爲ス

第三條第二項乃至第四項ノ規定ハ創立委員ニ之ヲ準用ス

前二項ノ規定ハ自動車交通事業法第十六條ノ三十四ニ於

テ準用スル同法第十六條ノ十三ノ規定ニ依ル聯合會ニハ

之ヲ適用セズ

第二十四條 聯合會ノ理事及監事ハ所屬ノ組合及聯合會ノ

理事又ハ監事ノ中ヨリ之ヲ選任ス但シ聯合會設立當時ノ

理事及監事ハ創立委員會ニ於テ其ノ聯合會ニ屬スベキ組

合及聯合會ノ理事又ハ監事ノ中ヨリ之ヲ選任スベシ

特別ノ事由アルトキハ理事及監事ハ前項ニ規定スル者以

外ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第二十五條 第四條、第五條、第七條乃至第十三條、第十

五條乃至第十九條及第二十一條ノ規定ハ聯合會ニ之ヲ準

用ス

附 則

第二十六條 本令ハ昭和十五年法律第百六號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二十七條 昭和十五年法律第百六號附則第三條第一項ノ自動車運送事業組合又ハ自動車運送事業組合聯合會ノ名稱中商業組合又ハ商業組合聯合會ナル文字ハ本令施行ノ日ニ於テ自動車運送事業組合又ハ自動車運送事業組合聯合會ニ變更セラレタルモノトス

第二十八條 昭和十五年法律第百六號附則第三條第一項ノ商業組合又ハ商業組合聯合會ノ役員ニシテ本令施行ノ際現ニ其ノ職ニ在ルモノハ自動車運送事業組合又ハ自動車運送事業組合聯合會ノ役員トシテ其ノ選任ニ付自動車交通事業法第十六條ノ第十八第二項ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケタルモノト看做ス

第二十九條 本令施行前昭和十五年法律第百六號附則第三條第一項ノ商業組合又ハ商業組合聯合會ニ付商業組合法ニ依リテ商業組合登記簿又ハ商業組合聯合會登記簿ニ登

記セラレタル事項ハ本令施行ノ日ニ於テ之ヲ本令ニ依リ自動車運送事業組合登記簿又ハ自動車運送事業組合聯合會登記簿ニ登記セラレタルモノト看做ス

第三十條 前條ノ商業組合登記簿又ハ商業組合聯合會登記簿ニ登記セラレタル事項ニ關シ本令施行後變更等ノ登記ヲ爲シタルトキハ登記官吏ハ職權ヲ以テ其ノ登記簿ノ登記ヲ自動車運送事業組合登記簿又ハ自動車運送事業組合聯合會登記簿ニ移スベシ

◎勅令第七十九號

行政諸法臺灣施行令中左ノ通改正ス

第四十條第一項ヲ左ノ如ク改ム

自動車交通事業法第十六條第一項及第四十九條第二項中 地方長官トアリ、第三十四條第一項中地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム以下之ニ同ジ）又ハ鐵道局長トアリ又ハ第三十五條及第三十六條中地方長官又ハ鐵道局長トアルハ臺灣總督府交通局總長、知事又ハ廳長トス 同條第二項中「第三十八條第二項」ヲ「第三十八條第三

項」ニ改ム

附 則

本令ハ昭和十五年法律第百六號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

大正十一年十二月二十
九日公布 勅令第五百二十一號

行政諸法臺灣施行令抄錄

第四十條 自動車交通事業法第三十五條及第三十六條中地方長

官トアルハ臺灣總督府交通局總長、知事又ハ廳長トス

自動車交通事業法第三十八條第二項ノ規定ニ依リ準用スル鐵

道抵當法第四十七條及第四十九條中官報トアルハ臺灣總督府

報トス

○勅令第八十號

所得稅法施行規則中左ノ通改正ス

第七條第一號中「及漁業協同組合」ヲ「、漁業協同組合及

自動車運送事業組合」ニ改メ同條第二號中「貿易組合聯合

會」ノ下ニ「、自動車運送事業組合聯合會」ヲ加フ

第二十一條第一號中「及漁業協同組合」ヲ「、漁業協同組

合及自動車運送事業組合」ニ改メ同條第二號中「貿易組合

聯合會」ノ下ニ「、自動車運送事業組合聯合會」ヲ加フ

第二十二條第一號及第三十五條第一號中「及蠶絲共同施設

組合」ヲ「、蠶絲共同施設組合及自動車運送事業組合」ニ

改ム

附 則

本令ハ昭和十五年法律第百六號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

昭和十五年三月三十
日公布 勅令第三百三十四號

所得稅法施行規則抄錄

第七條 左ニ掲グル法人ニ對スル預金ニシテ元本三千圓ヲ超エ

ザルモノノ利子ニハ所得稅法第十一條第一項第五號ノ規定ニ

依リ分類所得稅ヲ課セズ

一 工業組合、商業組合、貿易組合及漁業協同組合

二 工業組合聯合會、商業組合聯合會、貿易組合聯合會及商

工組合中央金庫

第二十一條 左ニ掲グル法人ニ對スル預金ノ利子ニ付テハ所得

稅法第二十一條第一項中配當利子所得甲種第三號ニ規定スル

稅率百分ノ十八之ヲ百分ノ五トス

一 工業組合、商業組合、貿易組合及漁業協同組合

二 工業組合聯合會、商業組合聯合會、貿易組合聯合會及商工組合中央金庫

第二十二條 左ニ掲グル法人ヨリ受クル剩餘金ノ分配ニ付テハ所得稅法第二十一條第一項中配當利子所得甲種第三號ニ規定スル稅率百分ノ十八之ヲ百分ノ五トス

一 産業組合、工業組合、商業組合、貿易組合、漁業協同組合及蠶絲共同施設組合

第三十五條 左ニ掲グル法人ヨリ受クル剩餘金ノ分配ニ付テハ所得稅法第三十三條第三項ニ規定スル割合百分ノ一ハ之ヲ百分ノ〇・五トス

一 産業組合、工業組合、商業組合、貿易組合、漁業協同組合及蠶絲共同施設組合

省令

○司法省令第四號

自動車交通事業財團抵當登記取扱手續中左ノ通改正ス

昭和十六年一月二十二日

司法大臣 柳川 平助

第六條 登記ノ申請書ニ自動車交通事業法第四十七條第三

項ニ掲グル路線又ハ一般自動車道ノ表示ヲ爲スニハ起點及終點、主タル經過地竝ニ延長ヲ記載シ、事業區間ノ表示ヲ爲スニハ區間ノ兩端ノ地及主タル營業地ヲ記載スベシ

附 則

本令ハ昭和十五年法律第百六號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

昭和八年九月三日 司法省令第三十三號

自動車交通事業財團抵當登記取扱手續抄錄

第六條 登記ノ申請書ニ自動車交通事業法第四十七條第三項ニ

掲グル自動車運輸事業ノ表示ヲ爲スニハ事業種別（旅客運送又ハ物品運送ノ別）ヲ記載シ、路線又ハ一般自動車道ノ表示ヲ爲スニハ起點及終點主ナル經過地竝ニ延長ヲ記載スベシ

○司法省令第五號

自動車運送事業組合登記取扱手續左ノ通定ム

昭和十六年一月二十二日

司法大臣 柳川 平助

自動車運送事業組合登記取扱手續

第一條 自動車運送事業組合ニ關スル登記ノ事務ハ商業登記ヲ取扱フ登記所ニ於テ之ヲ取扱フ

第二條 自動車運送事業組合登記簿及自動車運送事業組合聯合會登記簿ハ附録第一號様式ニ依リ地方裁判所長ニ於テ各之ヲ調製スベシ

第三條 受附帳ハ附録第二號様式ニ依リ毎年之ヲ調製スベシ

第四條 自動車運送事業組合又ハ自動車運送事業組合聯合會ノ設立ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テ自動車運送事業組合令第十五條第二項第四號(同令第二十五條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ニ掲グル事項ノ登記ハ登記用紙中豫備欄ニ之ヲ爲スベシ

第五條 合併又ハ事務所ノ新設若ハ移轉ニ依リ自動車運送事業組合令第十五條第二項(同令第二十五條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ニ定ムル登記ヲ爲シタルトキハ登記用紙中豫備欄ニ其ノ事由ヲ記載スベシ

第六條 行政區畫又ハ土地ノ名稱ノ變更アリタルトキハ登

記官吏ハ登記用紙中變更欄ニ新舊ノ名稱及變更アリタル旨ヲ記載シ之ニ捺印スベシ

第七條 商業登記取扱手續第十條乃至第二十三條、第二十四條第一項、第二十六條乃至第三十六條、第三十八條乃至第四十七條、第七十條乃至第七十二條、第七十五條、第七十八條及第百六條乃至第百八條ノ規定ハ自動車運送事業組合及自動車運送事業組合聯合會ノ登記ニ之ヲ準用ス

附 則

本令ハ昭和十五年法律第百六號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
自動車運送事業組合令第三十條ノ規定ニ依リ登記ヲ移スニハ本令ニ依ル登記簿ノ登記用紙中登記番號欄ニ其ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ且從來ノ登記簿ノ登記用紙中抹消ニ係ラザル事項ヲ移スベシ
前項ノ登記ヲ爲シタルトキハ本令ニ依ル登記簿及從來ノ登記簿ノ登記用紙中豫備欄ニ其ノ事由ヲ記載シ且從來ノ登記簿ノ登記用紙ヲ閉鎖スベシ

從來ノ登記簿ノ謄本ハ其ノ登記簿ト同一ノ様式ニ依リ之ヲ作成スベシ

○司法省令第六號

大正十四年司法省令第二十號中左ノ通改正ス

昭和十六年一月二十二日

司法大臣 柳川平助

「造船組合聯合會登記」「自動車運送事業組合登記簿」
簿ノ次ニ「自動車運送事業組合聯合會登記簿」
ヲ加フ

附 則

本令ハ昭和十五年法律第百六號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

大正十四年八月二日 司法省令第二十號ハ相互保險會社登記簿等
本、抄本請求等ニ關スル手数料ノ件ナリ

最近内務省に於ける路政關係行政處分例

M K 生

○内務省告示第三號

國道ノ路線ヲ認定シ大正九年十二月内務省告示第百二十五號中特
三十三號ノ次ニ左ノ路線ヲ加フ

昭和十六年一月十日

内務大臣 男爵 平沼騏一郎

特三十四號神奈川縣横須賀市小川町ヨリ同市八幡久里濱町ニ達ス
ル路線

○内務省告示第四號

國道特二十號路線ヲ變更シ大正九年十二月内務省告示第百二十五
號中「加佐郡志樂村」トアルヲ「東舞鶴市大字濱字濱(東舞鶴市大